

2015年
7月

No.201

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

憲法違反の新安保法制を許さない滋賀県民集会

必ず廃案に！ 1300人決起

日本を戦争する国につくり変える安全保障関連法案は7月16日、自民、公明両党が国民多数の反対を無視して衆議院本会議で強行採決しました。この暴挙に抗議し、参議院での廃案をめざす「憲法違反の新安保法制を許さない滋賀県民集会」が20日、大津市の膳所公園で開かれました。炎天下でしたが県内各地からピラなどで集会を知った人たちが、労働組合の旗や「憲法9条を守ろう」「若者を戦争に送るな」などののぼりや「安倍政治を許さない」などのプラカードなどを持ち約1300人が駆け付けました。さざなみネットからは3人が参加しました。

あいさつした滋賀弁護士会の中原淳一会長が衆院での強行採決に抗議し、「法案を一番理解していない人は誰か」と問うと、



プラカード・のぼりを持ちアピール



「新安保法制NO!」を掲げシュプレヒコール

「安倍！」と大合唱。基調報告の後、学者・知識人、女性、宗教者、若者が法案阻止へアピール。共産、民主、社民、新社会各党のメッセージを紹介後、強行採決に抗議する緊急アピールと「新安保法制を直ちに撤回することを求める」「集会宣言」を採択しました。

集会後はデモ行進の列がどこまでも続き、パルコ前まで延々と怒りのデモが続きました。

長浜でも160人が決起

25日、「戦争法案は廃案に！長浜駅前集会」が開かれました。猛暑の中、「戦争させない」「9条壊すな」の紙を持ち、約160人が、さざなみネットから2人が参加しました。

大門みきし参議院議員の国会報告の後、社会民主党、維新の党、中小業者団体、女性団体、宗教者、日本共産党、青年の代表がリレートーク。その後市内をデモ行進しました。

こんなに多くの、かってない若者やパパ・ママたち、宗教者など広範囲な人たちが「戦争はいやだ」と声を出しています。皆さん誘い合って参加し、声を上げましょう。



青年がリレートーク



礼文島の花々 岩波 美智子さん 画

第61回滋賀県母親大会

子ども・孫や青年を戦場に送らないため行動を

「命を生み出す母親は生命を守ることをのぞみます」をスローガンに、第61回滋賀県母親大会が7月19日、ヴォーリズ建築の豊郷町立豊郷小学校で開催され、1300人余りが、さざなみネットから3人が参加しました。旧校舎は長い廊下、趣ある窓、彫り細工と兎と亀の置物がある階段、粋で品があり、懐かしさと優しさで包まれる様でした。クーラーの効いた新校舎で多彩な20の分科会に分かれ、話し合いや学習が持たれました。

全体会は旧校舎群のクーラーの効いた講堂で行われました。ステージに向かって緩いスロープ、整然と並んだ6人掛の椅子、教会の雰囲気漂う中、地元合唱団によるオープニングです。運動紹介は「白浪5人衆」の「…に控えしは…」で始まりました。さざなみネットの坂下さんが、その1人として熱演、大いに盛り上がり拍手喝采でした。(右下写真)

フリージャーナリストの西谷文和さんが、シリアの生々しい映像を映しながら『戦後70年、平和を願う私たち』の演題で講演されました。利権に群がる「戦争ムラ」が、世界中で戦争を推進していることを示し、戦争法案に突き進む

安倍政権を厳しく批判しました。平和な日本を築くための「アピール」を採択したほか、



豊郷小学校旧校舎群



「子ども・孫や青年を戦場に送らないために母親、女性、すべての県民は行動しましょう」と戦争法案に反対する緊急提案がされました。

旧校舎群は当初も今も白い建物ですが、戦争の時は黒く塗られたそうです。戦争法案が衆議院で強行採決された後だけに、全体として、戦争する国許さない、平和を願う熱い大会となりました。(清水)



坂下さんが「白浪5人衆」で運動紹介

戦後70年特別企画前進座公演

南の島に雪が降る

7月16日大津びわ湖ホールにおいて、戦後70年特別企画前進座公演『南の島に雪が降る』があり、さざなみネットの4人が観賞しました。

この作品は、戦前、前進座の俳優として活躍した加東大介さんが太平洋戦争中の体験を書いた回想記をもとにしています。

物語の舞台は、1944年の西部ニューギニア。補給もなく食料が尽き、マリアスなどの疫病でバタバタと仲間が死んでいく戦場でした。こんな非常事態に演芸など持つてのほかと思うのが普通ですが、芸の力が上官の心を動かしました。軍曹の加東さんを中心に演芸分隊が立ち上げられ、生きて帰れない、やりきれない思いを抱えた極限の中の奇跡で、芝居は兵士たちの「生きる希望」となっていました。

戦後70年、戦争の記憶が薄れていく今、決して戦争を風化をさせてはいけない、2度と戦争をしてはいけないという思いと文化の素晴らしさを再認識しました。(山崎)

